

試験研究発表表題名，組織，情報，その他

試験研究発表題名、組織、情報、その他

平成5年度 試験研究発表題名一覧表

研究室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
保 護 部 長	ポーベリア菌によるマツノマダラ カミキリ防除効果	倉永善太郎 佐藤 重穂 岡部貴美子 松浦 邦昭 吉田 成章	日本林学会九州支 部研究論文集	46	179~ 180	5. 9
	薬剤による防除	松浦 邦昭	小林・竹谷編森林 昆虫総論・各論		134~ 146	6. 1
造 林	タケノコの発生はカオスか?	井 鷲 裕司	日本生態学会大会 講演要旨集	40	228	5. 4
	銀閣寺山国有林に設定した固定調 査区の概要	伊東 宏樹	森林総合研究所関 西支所研究情報	28	2	5. 5
	モウソウチク林の分布拡大	井 鷲 裕司	森林総合研究所関 西支所研究情報	29	2	5. 8
	Biomass and net production in a bamboo <i>Phyllostachys</i> <i>bambusoides</i> stand	井 鷲 裕司 河原 輝彦 加茂 皓一	Ecological Research	8	123~ 133	5. 8
	Is fluctuation pattern of clum production in bamoo stands chaos?	井 鷲 裕司	XV International Botanical Congress Abstracts		278	5. 8
	広葉樹二次林の種の多様性につ いて	伊東 宏樹 加茂 皓一 井 鷲 裕司	森林総合研究所関 西支所年報	34	26	5. 9
	マダケ林の純生産量	井 鷲 裕司 加茂 皓一 伊東 宏樹	森林総合研究所関 西支所年報	34	28	5. 9
	森林の葉の量と森林のタイプおよ び暖かさの示数との関係	加茂 皓一 井 鷲 裕司 伊東 宏樹	森林総合研究所関 西支所年報	34	33	5. 9
	スギの直径成長と気象要因との関 係	加茂 皓一 井 鷲 裕司 伊東 宏樹	森林総合研究所関 西支所年報	34	34	5. 9
	針広混交林誘導技術の開発	井 鷲 裕司	森林総合研究所関 西支所年報	34	57	5. 9
	The steady range expansion and its mechanism of naturalized bamboo species, <i>Phyllostachys</i> <i>pubescens</i> in Japan	井 鷲 裕司	Program and abstracts of a satellite meeting of XV Intrenational Botanical Congress "Forest dynamics and its mechanisms"		21	5. 9
	京都市内の広葉樹二次林でみられ たクロバイとアラカシとの立地環 境の違いについて	伊東 宏樹 加茂 皓一 井 鷲 裕司	日本林学会関西支 部論文集	3	91~92	6. 3

森林総合研究所関西支所年報第35号 平成5年度

研究室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
造 林	陽光量と根株の大きさがクヌギ萌芽の成長に及ぼす影響	加茂 皓一	日本林学会関西支部論文集	3	115～118	6. 3
	物質収支からみたmast-flowering	井鷲 裕司	日本生態学会大会講演要旨集	41	66	6. 3
	京都市・大文字山の広葉樹二次林の構造	伊東 宏樹 加茂 皓一 井鷲 裕司	日本生態学会大会講演要旨集	41	95	6. 3
	京阪奈丘陵における里山の立地環境と植生	白井 宏尚 (京都大) 伊東 宏樹 柳沢 直 (京都大) 佐久間大輔 (京都大) 田端 英雄 (京都大)	日本生態学会大会講演要旨集	41	108	6. 3
	Carbon stock and cycling in a bamboo <i>Phyllostachys bambusoides</i> stand	井鷲 裕司	Ecological Research	9	47～55	6. 3
風 致 林	芦野の里にみる農村の景観構成木の意義に関する研究	安原加津枝 熊谷 洋一 堀 繁	日本林学会大会発表論文集	103	215～218	4. 10
	北関東の農山村における複合経営の変容～栃木県那須町芦野・伊王野の事例から～	安原加津枝 柳幸 広登 天野 智将	日本林学会関東支部大会発表論文集	44	3～6	5. 3
	保護林制度にみる森林の保護管理の変遷	安原加津枝 中静 透 長江 恭博 熊谷 洋一	造園雑誌	56(5)	187～192	5. 3
	天然林の3次元樹冠形状の近似モデルに関する研究	野田 巖	森林総合研究所所報	55	3	5. 4
	林分樹冠構造の3次元シミュレーション	野田 巖	森林総研関西支所研究情報	28	3	5. 5
	地域社会が生物の多様性を保全するための条件とインセンティブの創出(日本語訳)	安原加津枝	生物の多様性保全戦略第6章		101～120	5. 6
	Population trend and distribution of the Amami Rabbit, <i>Pentalagus furnessi</i>	杉村 乾 山田 文雄	Abstracts of spoken and poster papers:VI th International Theriological Congress		295～296	5. 7
	アマミノクロウサギの生態、分布及び生息数の変化についてー調査結果の概要と保護対策ー	杉村 乾	チリモス	4	5～11	5. 8
	ランドスケープの見方・考え方	杉村 乾	林業技術	617	34～36	5. 8
	地図情報による緑資源情報のデータベース化技術	野田 巖	森林総合研究所関西支所年報	34	31	5. 9

試験研究発表題名、組織、情報、その他

研究室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
風 致 林	兵庫県住民による森林の諸機能に対する評価	杉村 乾	森林総合研究所関西支所年報	34	32	5. 9
	広葉樹樹冠の空間形状に関するシミュレーション	野田 巖	平成4年度森林総合研究所研究成果選集		30~31	5. 9
	Evaluation of forest functions by local people: development of a research method	杉村 乾	Proceedings of IUFRO Seoul		555~566	5. 9
	Development of an index for visibility analysis of urban forests	野田 巖	Proceedings of the IUFRO Seoul Conference, Sep		169~179	5. 9
	樹木の3Dモデル化と成長のシミュレーション	野田 巖	平成5年度森林総合研究所研究成果発表会講演要旨集		13~18	5. 10
	栃木県の農山村における葉タバコ生産と林野利用ー栃木県益子町の事例からー	安原加津枝 柳幸 広登 堀 靖人	日本林学会大会発表論文集	104	187~192	5. 10
	地理情報システムによる「緑資源」情報の利用技術の高度化	野田 巖	日本林学会関西支部講演要旨集	44	1	5. 10
	膨張主義に侵される環境の危機ー奄美大島からの報告と提言	杉村 乾	政経NEWS	58	16~21	5. 11
	アマミノクロウサギとその保護について	杉村 乾	きょらじま	6	88~98	5. 12
	保護林のおかれた状況とその管理手法	安原加津枝	森林総合研究所関西支所研究情報	31	2	6. 2
土 壌	森林空間の創出と管理（森林景観の演出）	安原加津枝	持続的レクリエーション利用のための森林景観管理に関する研究 第7章1節		87~103	6. 3
	兵庫県氷ノ山にみられる土壌と植生の対応について	鳥居 厚志 金子 真司	土壌肥料学会講演要旨集	39	135	5. 3
	持続的森林施業のための土壌研究を	荒木 誠	森林総合研究所関西支所研究情報	28	1	5. 5
	寡雨乾燥地域における土壌構造と水移動及び保水メカニズムの解明	吉岡 二郎 鳥居 厚志 金子 真司	成果情報シリーズ、水保全管理3	1113		5. 5
	人工林の成育過程における年流出量のシミュレーション	荒木 誠	水文・水資源学会1993年研究発表会要旨集		62~63	5. 8
	水洗される竹葉中の無機成分量	金子 真司	森林総合研究所関西支所年報	34	27	5. 9
	氷ノ山地域における過去の森林植生（Ⅰ）森林土壌の花粉分析結果	鳥居 厚志	森林総合研究所関西支所年報	34	41	5. 9

森林総合研究所関西支所年報第35号 平成5年度

研究室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
土 壌	氷ノ山地域における過去の森林植生(Ⅱ)森林土壌の植物珪酸体分析結果	鳥居 厚志	森林総合研究所関西支所年報	34	42	5. 9
	北山林業地域の土壌pH	金子 真司 鳥居 厚志 荒木 誠	森林総合研究所関西支所年報	34	49～52	5. 9
	ヒノキ林の皆伐による土壌溶液および溪流水の成分変化	荒木 誠 松浦陽次郎	日本林学会大会発表論文集	104	391～392	5. 10
	スギ衰退とその周辺—大気汚染学会等での研究動向—	鳥居 厚志	森林科学	9	34～38	5. 10
	森林土壌の環境保全機能の定量評価	平井 英明 (宇都宮大) 松井 直弘 (京都大) 鳥居 厚志	地球環境研究	28	69～91	5. 12
	雨滴衝撃の推定値による表土流亡の危険度判定の試み	荒木 誠 塚本 次郎 (高知大)	日本林学会関西支部論文集	3	61～64	6. 3
防 災	ヒノキ林における土壌水分と飽差が蒸発散に及ぼす影響	服部 重昭 玉井 幸治 阿部 敏夫	日本林学会誌	75(3)	216～224	5. 5
	寡雨乾燥地域の森林における水循環過程の解明	服部 重昭 玉井 幸治 阿部 敏夫	水保全管理・成果情報シリーズ(平成5年度)	16	1～2	5. 5
	Apportionment of evapotranspiration of a deciduous broad-leaved forest in the Yamashiro catchment.	玉井 幸治 服部 重昭	Exchange Processes at the Land Surface for a Range of Space and Time Scale. IAHS Publ	212	61～65	5. 8
	山火事跡地の植生被覆が侵食土砂量に及ぼす影響	服部 重昭 玉井 幸治	森林総合研究所関西支所年報	34	29	5. 9
	落葉広葉樹林における蒸発散特性—着葉期の場合—	玉井 幸治 服部 重昭	森林総合研究所関西支所年報	34	30	5. 9
	開空度の違いによる森林の積雪深変化	後藤 義明 大丸 裕武 森澤 猛	雪氷	55(3)	197～205	5. 9
	森林と蒸発散	服部 重昭	土砂の生成・水の流出と森林の影響		171～198	5. 10
	開空度の違いと森林内の積雪深	後藤 義明	森林総合研究所関西支所研究情報	30	2	5. 11
	森林の防火機能(その1). 樹木・樹林にはどんな防火機能があるか	後藤 義明	森林火災対策協会報	15	1～3	6. 1

試験研究発表題名、組織、情報、その他

研究室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
経 営	岡山県津山地区における大規模製材・流通の現状	野田 英志	高度加工木製品物流拠点等整備基礎調査（平成4年度製品市場等実態調査）		75～88	5. 3
	D I Y用木材の生産と需要	野田 英志	京都府産材ブランド化促進事業委託調査報告書		125～139	5. 3
	ヒノキの初期成長と局所密度の関係	家原 敏郎	森林総合研究所関西支所年報	34	40	5. 9
	大型国産材製材工場の現状と課題ー岡山県津山地区を対象としてー	野田 英志	森林総合研究所関西支所年報	34	46	5. 9
	竹材生産業者の現状分析ー伐出方法・技術の地域的差異ー	田村 和也	森林総合研究所関西支所年報	34	47	5. 9
	六万山および流谷スギ収穫試験地の林分構造と成長	家原 敏郎	森林総合研究所関西支所年報	34	53～56	5. 9
	「森林技術者」による魅力ある作業班を目指して	野田 英志	森林組合	279	16～20	5. 9
	新潟県村松町林産物流通施設整備事業	野田 英志 田村 和也	林業山村活性化林業構造改善事業計画診断書		1～42	5. 10
	大規模国産材製材工場の存立基盤（Ⅲ）ー岡山県津山地区を事例にー	野田 英志 天野 智将 遠藤 日雄 鶴 助治	日本林学会大会発表論文集	104	167～170	5. 10
	竹材生産の担い手と生産の方法	田村 和也	森林総合研究所関西支所研究情報	30	3	5. 11
	「木材流通構造調査報告書」を読む	野田 英志	木材情報	30	6～11	5. 11
	ヒノキ無間伐林分と間伐実行林分における素材収穫量と収益性の比較	家原 敏郎	森林計画学会誌	21	17～33	5. 12
	木材需給構造の変化と流通ー「国産材時代」への市場・流通研究の課題と展望ー	野田 英志	森林サイエンスの現状と今後の展望		212～215	6. 3
	国産材の産地化への取り組みと今後の課題	野田 英志	三重県宮川地域産地形成型林業構造改善事業・産地化分析調査報告書		42～68	6. 3
	ヒノキ人工林における森林施業と経営的評価に関する研究	家原 敏郎	鳥取大学農学博士論文		1～160	6. 3
	素材生産量の算出と収穫予測	家原 敏郎	森林サイエンスの現状と今後の展望		206～207	6. 3

森林総合研究所関西支所年報第35号 平成5年度

研究室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
樹 病	ナラ類集団枯損における枯損機構の解明ー枯損被害に関連する菌類とその病原性ー	伊藤進一郎 黒田 慶子 山田 利博 三浦 由洋 (森林総合研究所) 井上 重紀 (森林総合研究所)	日本林学会大会講演要旨集	104	216	5. 4
	ナラ類集団枯損における枯損機構の解明ー健全なナラ類へのカシノナガキクイムシの接種ー	伊藤進一郎 黒田 慶子 山田 利博 三浦 由洋 (森林総合研究所) 井上 重紀 (森林総合研究所)	日本林学会大会講演要旨集	104	217	5. 4
	ナラ類集団枯損における枯損機構の解明ー木部の変色域拡大と通水機能の低下ー	黒田 慶子 伊藤進一郎	日本林学会大会講演要旨集	104	217	5. 4
	ナラ類の集団枯損被害に関連する菌類	伊藤進一郎 黒田 慶子 山田 利博 三浦 由洋 (森林総合研究所) 井上 重紀 (森林総合研究所)	日本植物病理学会報	59(3)	290~ 291	5. 6
	萎凋前のナラ類における木部組織の生理的变化と木部変色域の拡大	黒田 慶子 伊藤進一郎	日本植物病理学会報	59(3)	291	5. 4
	樹木の解剖学(1)クロマツ	黒田 慶子	森林総合研究所関西支所研究情報	29	4	5. 8
	<i>Bursaphelenchus xylophilus</i> induced pine wilt: Factors associated with resistance	黒田 慶子 伊藤進一郎	VI International Congress of Plant Pathology (Canada) Abstracts		89	5. 8
	Determinant of mortality in Oak: Xylem discoloration and dysfunction caused by a pathogenic fungus	黒田 慶子 伊藤進一郎	XV International Botanical Congress (Yokohama) Abstracts		128	5. 8
	ナラ類枯損被害に関与する菌類	伊藤進一郎 黒田 慶子	森林総合研究所関西支所年報	34	25	5. 9
	マツノザイセンチュウ接種後のクロマツにおける微生物相の変遷	黒田 慶子 伊藤進一郎	森林総合研究所関西支所年報	34	35	5. 9
	関西地域におけるスギ黒心材被害	伊藤進一郎 黒田 慶子	森林総合研究所関西支所年報	34	43	5. 9
	関西地域に発生するナラ類集団枯損の原因究明	伊藤進一郎 黒田 慶子 山田 利博	森林総合研究所所報	61	7	5. 10

試験研究発表題名、組織、情報、その他

研究室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
樹 病	樹木の解剖学(2)コナラ	黒田 慶子	森林総合研究所関西支所研究情報	30	4	5. 11
	樹木の解剖学(3)ヒノキ	黒田 慶子	森林総合研究所関西支所研究情報	31	4	6. 2
昆 虫	スギノアカネトラカミキリの成虫訪花誘引剤による防除	藤田 和幸 竹谷 昭彦 吉田 成章 牧野 俊一 磯野 昌弘 北島 博寛 榎原 寛	日本昆虫学会53回、日本応用動物昆虫学会37回合同大会講演要旨		77	5. 4
	秩父山地十文字峠のコメツガ林におけるクマムシ類の土壌深度分布	阿部 渉 (千葉大) 伊藤 雅道 天野 洋 (千葉大)	日本土壌動物学会大会講演要旨集	16	21	5. 5
	陸生クマムシ類の分類形質についての2, 3の新知見	伊藤 雅道	日本土壌動物学会大会講演要旨集	16	36	5. 5
	水棲コナダニ (<i>Schwiebia</i> sp.) の飼育経験	田神 一美 (筑波大) 伊藤 雅道 福山 研二	日本ダニ学会誌	2(1)	45	5. 5
	粘着剤を用いたヒノキカワモグリガ幼虫防除の試み	上田 明良 遠田 暢男 伊藤 雅道 大河内 勇	日本林学会関東支部大会発表論文集	44	129~130	5. 5
	マツ樹皮下穿孔虫の寄生バチ2種の生活史および寄主選択	浦野 忠久	森林防疫	495	114~118	5. 6
	Taxonomic study on the class Heterotardigrada (Tardigrada) from the northern slope of Mt. Fuji, Central Japan	伊藤 雅道	Edaphologia	50	1~13	5. 7
	マツ枯損木の穿孔虫とその天敵昆虫の樹幹内分布	浦野 忠久 五十嵐 正俊 細田 隆治 伊藤 賢介	森林総合研究所関西支所年報	34	38	5. 9
	オオコクヌストの松くい虫防除への利用	五十嵐 正俊 細田 隆治 伊藤 賢介 浦野 忠久	森林総合研究所関西支所年報	34	39	5. 9
	スギカミキリの産卵に対する幼若ホルモン様活性物質の影響	細田 隆治 五十嵐 正俊 伊藤 賢介 浦野 忠久	森林総合研究所関西支所年報	34	45	5. 9
	タケトラカミキリの生態と防除	五十嵐 正俊 細田 隆治 伊藤 賢介 浦野 忠久	森林総合研究所関西支所年報	34	58	5. 9

森林総合研究所関西支所年報第35号 平成5年度

研究室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
昆 虫	Life histories of the parasitoid wasps and their percent parasitisms on inoculated larvae of the cryptomeria bark borer, <i>Semanotus japonicus</i> Lacordaire (Coleoptera: Cerambycidae)	浦野 忠久 伊藤 賢介	日本林学会誌	75	409~ 415	5. 9
	アラカシ・シラカシ・マテバシイの堅果に対する虫害(Ⅱ)ー落下後堅果への昆虫の加害時期と程度ー	上田 明良 五十嵐 正俊 伊藤 賢介	日本林学会大会発表論文集	104	681~ 686	5. 10
	丸太への天敵微生物散布によるスギカミキリ防除試験	上田 明良 遠田 暢男 三橋 渡 島津 光明 佐藤 大樹	日本林学会大会発表論文集	104	673~ 674	5. 10
	マツ穿孔虫類の天敵昆虫相の時空間分布	浦野 忠久	平成5年度研究成果発表会講演要旨集		4	5. 10
	A New <i>Aceraius</i> Species (Coleoptera, Passalidae) from Sabah, Borneo	近 雅博 (京都大) 上田 明良 常喜 豊 (昭和女子大)	Elytra, Tokyo		275~ 279	5. 11
	森林の土壌動物	伊藤 雅道	林業と薬剤	126	1~10	5. 12
	森林害虫防除における生態研究の意義	藤田 和幸	森林昆虫総論・各論		63~74	6. 1
	生物間相互関係の解明, その位置づけと展開	藤田 和幸	森林総合研究所関西支所研究情報	31	1	6. 2
	土壌動物群集の多様性	伊藤 雅道	森林総合研究所関西支所研究情報	31	3	6. 2
	孫悟空もマツ青	伊藤 雅道	森の動物の100不思議		212~ 213	6. 2
	出自はゴンドワナ大陸	伊藤 雅道	森の動物の100不思議		214~ 215	6. 2
	スギ・ヒノキ穿孔性害虫	藤田 和幸	森林サンエンスの現状と今後の展望		144~ 147	6. 3
	落下後のシラカシ堅果を加害するドングリキクイムシとクリノミキクイムシの加害率, 生活史と性比	上田 明良	日本昆虫学会54回, 日本応用動物昆虫学会38回合同大会講演要旨		146	6. 3
	福井県におけるナラ類の集団枯損と穿孔虫	井上 重紀 (森林総合研究所関西支所) 浦野 忠久 伊藤 進一郎	日本林学会大会講演要旨集	105	103	6. 3

試験研究発表題名、組織、情報、その他

研究室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
昆 虫	ナラ類に対するカシノナガキクイムシの穿孔と菌の分布	加藤 肇 (名古屋大) 浦野 忠久 黒田 慶子 伊藤進一郎	日本林学会大会講演要旨集	105	487	6. 3
	カシノナガキクイムシのナラ健全木における穿入密度および捕獲数と枯損発生の関係	浦野 忠久 藤田 和幸 伊藤進一郎 井上 重紀 (鳥取県グリーンセンター)	日本林学会大会講演要旨集	105	489	6. 3
鳥 獣	魚梁瀬地方におけるシカ・カモシカ等の分布と造林木被害	山崎 三郎 山田 文雄 小泉 透 北原 英治	日本林学会関西支部論文集	2	205~208	5. 3
	Relationships between habitat and renal function in water conservation in the Anderson's red-backed vole <i>Eothenomys andersoni</i> on the Kii Peninsula Japan	北原 英治	森林総合研究所研究報告	364	115~124	5. 4
	北海道の鳥類相とその分布	日野 輝明	生態学からみた北海道		184~197	5. 6
	Biogeographical view on the avifauna of Hokkaido	日野 輝明	Biodiversity and ecology in the northernmost Japan		90~102	5. 6
	鳥類群集生態学の新しい展開に向けて	日野 輝明	森林総合研究所関西支所研究情報	30	3	5. 8
	Interindividual differences in behaviour and organization of avian mixed-species flocks	日野 輝明	Mutualism and community organization		37~60	5. 8
	混群-「多様な目」の効用	日野 輝明	動物たちの地球	111	84~87	5. 8
	森林観測塔を用いた樹冠研究の展開-北海道大学中川地方演習林でのアプローチ	中野 繁 (北海道大) 奥山 悟 (北海道大) 倉本 恵生 (北海道大) 日野 輝明	北海道大学演習林試験年報	11	27~28	5. 8
	飼育下における紀伊半島産ヤチネズミの繁殖パラメーター	北原 英治	森林総合研究所関西支所年報	34	36	5. 9
	紀伊半島産ヤチネズミのこと	北原 英治	森林保護		37~39	5. 10
	混群における攻撃的な種内干渉と種間干渉	日野 輝明	1993年度日本鳥学会講演要旨集		31	5. 10
	個体間の攻撃行動からみた鳥の混群の群集構造	日野 輝明	日本動物行動学会講演要旨集	12	1	5. 12

森林総合研究所関西支所年報第35号 平成5年度

研究室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
鳥 獣	逃げおくれた？鼠	北原 英治	森の動物の100 不思議		88～89	6. 2
	“口の箸” のデザイン	日野 輝明	森の動物の100 不思議		164～ 165	6. 2

試験研究発表題名、組織、情報、その他

(1) 沿 革

昭和22年林政統一による機構改革に伴い、林業試験研究機関を整備することになり、同年4月大阪営林局内の試験調査部門を編成替のうえ農林省林業試験場大阪支場として局内に併置された。

関 西 支 所

- 昭和25. 4 京都市東山区七条大和大路に大阪支場京都分室設置さる
- 昭和27. 7 京都分室を廃止し、そのあとに支場を移転し京都支場と名称を改む
- 昭和28. 2 新たに伏見区桃山町に支場庁舎敷地として国有林の所属替をうけ、同時に桃山研究室を設置
- 昭和31. 3 庁舎・研究室を新設・移転
- 昭和34. 7 関西支場と名称を改む
- 昭和40. 3 研究室等を増改築
- 昭和41. 4 部制設置（育林・保護の2部）
- 〃 防災研究室を岡山試験地から移転
- 昭和51.11 庁舎・研究室（昭和31. 3新築のもの）を改築
- 昭和57.12 鳥獣実験室を新築
- 昭和59.12 治山実験室を新築
- 昭和62.12 森林害虫実験棟（旧昆虫飼育室）を建替え
- 〃 危険物貯蔵庫を建替え
- 昭和63. 3 ガラス室、隔離温室を建替え
- 昭和63.10 林業試験場の組織改変により森林総合研究所関西支所と名称を改む
- 〃 風致林管理研究室を育林部に新設
- 〃 調査室を連絡調整室と名称を改む
- 平成元.12 粗試料調整測定室を新築
- 平成4. 3 風致林管理実験棟を新築
- 平成4. 4 鳥獣研究室を保護部に新設
- 平成5.12 森林微生物生理実験棟を新築

岡 山 試 験 地

- 昭和10. 8 岡山市上道郡高島村に水源涵養試験地として設置
- 昭和12.12 林業試験場高島試験地と名称を改む
- 昭和22. 4 林業試験場大阪支場の所管となり、同支場高島分場と名称を改む
- 昭和27. 7 林業試験場京都支場高島分場と名称を改む
- 昭和34. 7 林業試験場関西支場岡山分場と名称を改む
- 昭和41. 4 林業試験場関西支場岡山試験地と名称を改む
- 昭和60.12 試験地無人化となり事務所を閉鎖する
- 昭和63. 9 旧庁舎、宿舍など施設を取壊す
- 昭和63.10 林業試験場の組織改変により試験地廃止さる

(2) 土地および施設

1. 土地

関西支所敷地	64,117㎡
内 訳	
庁舎敷地	(9,621)
苗木畑	(10,923)
樹木園	(5,831)
見本林・実験林	(35,321)
その他の施設等	(2,421)
宿舎敷地	4,000
島津実験林	7,045
宇治見実験林	3,812
岡山実験林	13,337

計	92,311㎡
---	---------

2. 施設(延べ面積)

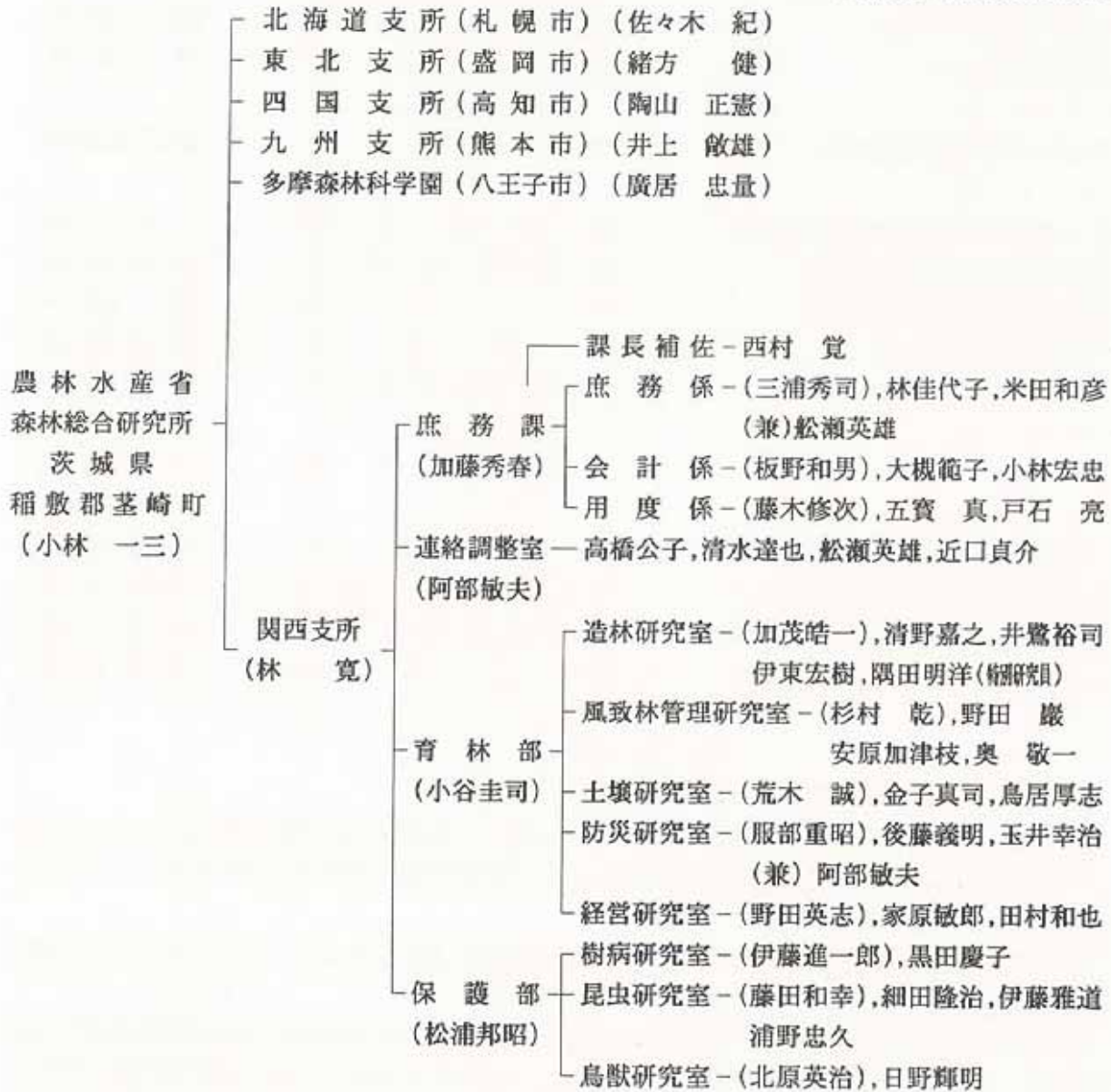
庁舎	3棟	2,275㎡
内 訳		
研究室(本館)		(1,507)
"(別館)		(628)
機械室		(140)
温室	1棟	85
ガラス室	1 "	56
隔離温室	1 "	124
殺菌培養室	1 "	48
樹病低温実験室	1 "	91
森林害虫実験棟	1 "	219
森林微生物生理実験棟	1 "	118
鳥獣実験室	1 "	139
治山実験室	1 "	157
粗試料調整測定室	1 "	124
材線虫媒介昆虫実験室	1 "	41
風致林管理実験棟	1 "	260
事務連絡所	1 "	223
その他の	9 "	330
宿舎	4 "	970

計	29棟	5,260㎡
---	-----	--------

試験研究発表題名、組織、情報、その他

(3) 組 織

(平成6年3月31日現在)



(4) 人 の 動 き

5. 4. 1 付

本所林業経営部生産システム研究室長へ	育林部風致林管理研究室長	天 野 正 博
本所企画調整部企画室長へ	保護部鳥獣研究室	山 田 文 雄
多摩森林科学園業務課施設管理係長へ	庶務課庶務係長	佐々木伸弘
庶務課庶務係長に	本 所	三 浦 秀 司
庶務課会計係長に	庶務課用度係長	板 野 和 男
庶務課用度係長に	庶務課会計係長	藤 木 修 次

保護部鳥獣研究室に	本	所	日野輝明
育林部風致林管理研究室長に	育林部風致林管理研究室		杉村乾
保護部昆虫研究室長に	保護部昆虫研究室		藤田和幸
庶務課用度係に	新規採用		植田愛美
5. 9. 1 付			
育林部風致林管理研究室に	本	所	安原加津枝
5. 10. 1 付			
本所木材化工部難燃化研究室長へ	連絡調整室		上杉三郎
本所総務部用度課用度係へ	庶務課用度係		植田愛美
育林部風致林管理研究室に	本	所	奥敬一
保護部昆虫研究室に	新規採用		伊藤雅道
育林部造林研究室に	科学技術特別研究員		隅田明洋
5. 12. 31 付			
退職	連絡調整室		今西茂郁
6. 3. 20 付			
本所森林生物部生物管理科長へ	保護部長		田畑勝洋
北海道支所保護部昆虫研究室へ	保護部昆虫研究室		伊藤賢介
九州支所保護部昆虫研究室室へ	保護部鳥獣研究室		小泉透
保護部長に	九州支所		松浦邦昭

(5) 会議の開催

1. 関西地区林業試験研究機関連絡協議会総会

森林総合研究所関西支所、四国支所の管内2府16県の公立林業関係試験研究機関、林木育種センター関西林木育種場、森林総合研究所関西支所、四国支所など22機関の長を会員として構成された協議会であり、年一回総会が開催される。

平成5年度の第46回総会は、奈良県林業試験場の企画により5月25日、26日の両日奈良県奈良市及び吉野郡吉野町で開催された。

会議は国の機関ならびに全国林業試験研究機関連絡協議会の中央における林業試験研究関係の動向が紹介され、ついで各研究専門部会（10部会）から活動の状況と今後の計画が報告、提案された。この中で主な協議事項は、育苗部会長から今後の部会運営方針についての報告があり、協議・討論され、関連する他の部会との共催などを含め、部会長を中心になお検討することとなった。

2. 林業研究開発推進近畿・中国ブロック会議

この会議は、林業研究開発推進会議要領にもとずいて毎年開催されている。平成5年度の第21回会議は、京都市呉竹文化センター創造活動室において10月21日開催された。会議には、府県側から近畿・中国地区2府12県の林務部局行政担当者及び林業試験研究機関の長が、また、国側から大阪営林局、林木育種センター関西育種場の関係者ならびに林野庁指導部研究普及課の金谷首席研究企画官、金沢試験場係長、森林総研の小池連絡科長及び関西支所関係者が出席した。

試験研究発表題名、組織、情報、その他

会議はまず林野庁、森林総研から挨拶のあと議事に入り、新規事業等の概要を林野庁から、試験研究及び技術開発の動向について森林総研、関西育種場、大阪営林局からそれぞれ紹介がされた。ついで各府県から主要な研究の成果26題が報告され、近畿・中国ブロックにおける重要研究課題の成果として11課題を摘出した。さらに技術開発に関する要望課題が各府県から提案され討論が行なわれた。その分野別主な課題は次のとおりである。

造林分野 混交林等多面的機能発揮に適した森林造成管理技術の開発に関するもの6題。

造林・防災分野 積雪地帯における森林の環境保全機能向上技術に関するもの4題。

土壌・防災分野 ヒノキ林等急傾斜地の表土保全に関するもの3題。

育種分野 松くい虫抵抗性品種の育成に関するもの3題。

経営分野 林業労働力の現状分析と安定化システムに関するもの6題。

保護分野 広葉樹（ナラ類）集団枯損原因の究明に関するもの1題。

特産分野 針葉樹間伐材を利用したシイタケ菌床栽培技術の確立、菌糸を利用したバイオマス変換技術の開発に関するもの各1題。

木材・林産部門 国産材を用いた表面加工技術の開発に関するもの9題

これらの課題を中心とした討論の結果、平成6年度からの国補候補課題を除き、近畿・中国ブロックにおける今年度の地域重要課題として、次の3課題を摘出した。

- ①. 積雪地帯における森林の環境保全機能向上技術の開発
- ②. 急傾斜地における表土流失防止等の土壌保全技術に関する研究
- ③. 国産材の品質保障技術の開発

3. 関西支所研究成果発表会

研究成果発表会は、関西支所の研究者によって得られた研究の成果を広く利用してもらうため公開で行なわれており、今年度は第8回目にあたり10月22日京都市呉竹文化センター創造活動室において府県関係者、国有林及び民有林関係者、一般市民など多数の出席を得て開催された。

発表会は、まず森林総研木材利用部中野達夫部長による「国産材の利用技術開発と今後の利用方法」と題した特別講演があり、ついで支所研究者2名による研究成果の発表と討論が行なわれた。発表した研究成果の概要は「研究成果発表会記録」としてP.53～P.54に収録した。

また、本年度も同時にポスターセッションによる4題の発表「銀閣寺山国有林広葉樹二次林の林分構造」（造林研：伊東宏樹）「森林の諸機能に対する兵庫県民の評価」（風致林管理研：杉村 乾）「関西地域におけるナラ類集団枯損の発生」（樹病研：伊藤進一郎）「マツ穿孔虫類の天敵昆虫相の時空間分布」（昆虫研：浦野忠久）を行い、課題も地域性に富み好評を得た。

4. 関西支所研究検討会・研究推進会議

研究検討会は、2月14日、15日の両日、研究者全員出席のもと支所会議室で開催された。各研究問題の大課題ごとに研究成果個表に基づき、担当研究者によって研究の進捗状況、成果及び今後の計画などについて報告を行い検討された。

研究問題XVでは、12課題が完了し、次年度からの新規課題として9課題、重要研究課題素材として3課題を、また、研問題XVIでは、完了課題12、新規課題4、重要研究課題素材4が提案、討議され、研究推進会議に報告、検討されることとなった。

研究推進会議は、2月22日支所会議室で開催された。会議では、研究問題X V「風致林及び都市近郊林の育成・管理技術の高度化」、研究問題X VI「関西地域における森林造成技術と経営管理方式の確立」の両研究問題について大課題責任者から研究検討会で討議された結果の報告が行われ、検討・評価及び調整を行い、主要な研究成果10課題、速報1課題を選定、新規課題として13題設定され、重要研究課題素材7題の摘出を行った。

さらに、特別検討事項は「関西地域における新分野研究の動向」として、2つの研究分野、“林野火災の現状と方向”及び“森林に生息する鳥類の群集生態学の現状と方向”を取り上げ、2人の研究者（防災研：後藤主任研究官、鳥獣研：日野研究員）から話題提供を受け、活発な討議が展開され、討論を通じてこれら研究分野の必要性が確認された。

なお、この会議には小沼次長が出席された。

また、3月4日には、平成3年度からスタートした関西支所中心のプロジェクト研究「緑資源の総合評価による最適配置計画手法の確立に関する研究」（略称「緑資源」）の最終年度に当る研究推進会議を、農林水産技術会議連絡調整課糸瀬公害対策技術係長、企画調査課赤間研究調査官、本所竹谷企画科長、兵庫県及び本・支所の関係者を含め、支所会議室で開催し、3年間にわたる研究の成果が報告され、ほぼ満足のいく結果を得て成果報告を取りまとめることが確認された。

試験研究発表題名、組織、情報、その他

(6) 受託研究等調査・指導

用 務	受 託 者	用 務 先	実施月日	出 張 者	
				研究室	氏 名
「第2回住用村市崎アミノクロウサギ生息分布調査検討委員会」 現地調査	財団法人鹿児島県環境技術協会理事長	鹿児島県鹿児島市	5.6.24 ～26	風 致 林	杉村 乾
「21世紀・機械化林業へ進むべき方向について」 講師	高知県林務局 林政課長	高知県高知市	5.7.5 ～7	支 所 長	林 寛
「林業情報化システムについて」 講師	三重県尾鷲農 林水産事務所 長	三重県尾鷲市	5.7.27 ～28	経 営	野田 英志
「平成5年度 福井県「採種圃カ メムシ等防除対策検討委員会」」 現地調査	福井県総合グ リーンセンタ ー所長	福井県丸岡町 ・大野市	5.9.9 ～10	保護部長	田畑 勝洋
「「21世紀、機械化林業へ進む べき方向」をテーマとした林業機 械研究会」 講師	高知県林務局 林政課長	高知県高知市	5.9.14 ～16	支 所 長	林 寛
「松くい虫保全林の総合的管理調 査」 現地調査	社団法人日本 林業技術協会 理事長	岡山県玉野市 ・邑久町・美 作町・御津町	5.11.29 ～12.4	保護部長	田畑 勝洋
「林業と野生鳥獣の共存をめざし て」 講師	徳島県林業総 合技術センタ ー所長	徳島県徳島市	6.1.18 ～20	鳥 獣	小泉 透

(7) 国内留学

氏 名	留 学 先	留 学 期 間	課 題
金子 真司	神戸大学農学部	5. 5. 31～5. 7. 30	大気汚染の実態把握のための樹皮成分分析に関する研究

(8) 当所職員研修

氏 名	研 修 先	研 修 期 間	研 修 内 容
植田 愛美	大阪合同庁舎第4号館	5. 4. 12～5. 4. 16	平成5年度近畿地区新採用職員研修(Ⅱ種)
"	大阪府立青年の家	5. 4. 20～5. 4. 23	平成5年度Ⅱ種試験採用者研修
三浦 秀司	大阪合同庁舎第4号館	5. 7. 22	給与実務担当者研修会
日野 輝明	ECC外語学院	5. 10. 19～6. 3. 31	英語研修
野田 英志	農林水産技術会議事務局 筑波事務所	5. 11. 18～5. 11. 10	平成5年度中山間研究研修
清水 達也	農林水産研修所	5. 12. 6～5. 12. 17	平成5年度一般職員行政研修(第一班)

(9) 技術研修受け入れ

氏 名	所 属 機 関	研 修 期 間	研 修 内 容
吉田 和広	名古屋大学大学院	5. 7. 1～6. 3. 31	赤枯病における抵抗性機構の解明
安田 陸	高知県林業試験場	5. 9. 1～5. 11. 30	森林病害の防除技術
青木 隆	広島県広島農林事務所	5. 10. 4～5. 11. 30	真砂土という土壌条件で水源かん養機能が高い森林造成技術の修得

(10) 海外出張

氏 名	出 張 先	出 張 期 間	研 究 課 題
服部 重昭	中 国	5. 6. 10～ 5. 7. 10	中国黄土高原治山技術訓練計画に係る専門家
伊藤進一郎	マレーシア	5. 7. 23～ 5. 8. 31	マレーシア・サバ州造林技術開発訓練計画に係る専門家
荒木 誠	スウェーデン, イタリア, ドイツ	5. 10. 19～ 5. 11. 4	農林水産生態系を利用した地球環境変動要因の制御技術の開発に関する平成5年度海外調査
金子 真司	ブラジル	5. 10. 14～ 5. 12. 12	ブラジル・サンパウロ州森林環境保全研究計画に係る専門家

(11) 海外派遣

氏 名	派 遣 先	派 遣 期 間	研 究 課 題
清野 嘉之	インドネシア	4. 2. 26～ 6. 5. 31	インドネシア熱帯降雨林研究計画

試験研究発表題名、組織、情報、その他

(12) 国際研究集会

氏 名	行 先	派遣期間	研 究 集 会 名
杉村 乾	オーストラリア	5. 7. 3～ 5. 7. 12	第6回国際ほ乳類学会議

(13) 見 学 者

		内 訳						計
		国	府 県	大 学	小 中 高	林業団体	一 般	
国内	件数	28	10	8	0	8	13	67
	人数	81	99	89	0	38	83	390
国外	バ`ブ`アニューキ`ニア:1, イント`ネシア:4, 韓:12, フ`ラジ`ル:1, マレイシア:4, ホ`-ランド`:5, ト`ミニカ:1, ケニア:1, フィリピン:1, タイ:3, 中韓民国:4, オーストラリア:1, 大韓民国:1							39

(14) 試験地一覧表

試験地名	営林署	担当区	林小班	樹種	面積	設定年度	終了予定年度	担当研究室
高取山スギ人工林皆伐用材林作業 収穫試験地	奈良	下市	56ほ 49ほ	スギ	(ha) 0.60	昭10	平12	経営
高取山ヒノキ人工林	"	"	56ほ	ヒノキ	0.40	"10	"9	"
高野山スギ人工林	"	高野	31ろ	スギ	0.17	"10	"17	"
高野山ヒノキ人工林	"	"	31ろ	ヒノキ	0.25	"10	"25	"
滝谷スギ人工林	"	山崎	136に	スギ	2.25	"11	"32	"
新重山ヒノキ人工林	"	福山	49と	ヒノキ	1.05	"12	"28	"
遠藤スギその他択伐用材林作業 収穫試験地	津山	上齊原	39ろ	スギ	1.67	"12	"69	"
西山アカマツ天然林皆伐用材林作業 収穫試験地	広島	河内	1,032い	アカマツ	1.02	"12	"8	"
滑山スギ人工林	"	山口	11り	スギ	1.60	"13	"28	"
奥島山アカマツ天然林皆伐用材林 作業収穫試験地	大津	八幡	79は	アカマツ	1.75	"13	"29	"
地獄谷アカマツ天然林その他択伐 用材林	奈良	郡山	17わ	アカマツ スギ・ヒノキ	1.73	"15	"54	"
篠谷山スギ人工林皆伐用材林	倉吉	根雨	1,015い	スギ	0.80	"34	"25	"
茗荷淵山ヒノキ人工林	新宮	飛鳥	41へ	ヒノキ	0.17	"35	"62	"
白見スギ人工林	"	新宮	5ほ	スギ	1.24	"37	"43	"
六万山スギ人工林	金沢	白峰	55は	スギ	0.79	"37	"57	"
西条保育形式試験地	広島	志和	11へ	アカマツ	2.15	"33	"6	造林
福山	福山	上下	16へ	スギ	2.25	"33	"6	"
吉永植栽比較試験地	岡山	和気	1,005ほ	スギ他5	1.54	"41	"8	"
林地肥培西条(クロマツ)試験地	広島	河内	1,026に	クロマツ ヒノキ	0.32	"39	"7	土壌
竜の口山量水試験地	岡山	岡山	11ほ・に・は	アカマツ他	44.99	"10	"8	防災
馬乗山試験地	福山	大野	69ち	スギ・ヒノキ	6.50	"43	"7	造林
焼尾試験地(ヒノキ)	三重	阿山	72に	ヒノキ	0.15	"59	"6	土壌
青岳試験地(ヒノキ)	"	"	81ほ	ヒノキ	0.30	"59	"6	"
複層林施業試験地	大津	大津	20わ	ヒノキ	0.24	"59	"6	造林
竹林施業技術の改良試験地	京都	木津	523い	マダケ	0.31	"60	"14	"
針広混交誘導試験地	神戸	箕面	72ほ・り	ヒノキ	1.50	"60	"7	造林
北谷水文試験地	京都	木津	509い	広葉樹	51.60	"63	"10	防災
坂ノ谷ミズメ個体群更新機構試験 地	山崎	和田山 奥谷		広葉樹		"63	"6	造林
嵐山国有林風致試験地	京都	嵐山	38	スギ他	59.03	平元	"10	風致林

試験研究発表題名，組織，情報，その他

(15) 気 象 年 報

5 年 月	気温℃ 120cm							気温別日数 120cm				
	平均	平均	平均	最高	起日	最低	起日	最 高		最 低		
	9 h	最高	最低					< 0℃	≥ 25℃	< -10℃	< 0℃	≥ 25℃
1	3.6	8.9	1.8	12.0	3	-1.8	20				6	
2	4.6	10.3	1.6	19.3	6	-3.0	15				6	
3	6.3	12.4	2.7	19.6	23	-1.1	2				5	
4	12.6	18.5	7.9	27.4	20	0.6	11		3			
5	17.6	23.3	13.1	31.8	28	8.0	15		12			
6	22.0	27.0	17.6	33.8	17	11.0	7		22			
7	24.3	28.3	21.0	35.4	25	17.0	4		26			1
8	25.7	30.6	21.8	35.9	26	17.5	29		29			
9	19.6	26.1	17.8	35.0	1	11.6	28		20			
10	16.2	21.9	11.9	26.9	10	6.0	28		5			
11	12.2	18.1	8.7	24.8	16	0.2	25					
12	5.2	11.5	2.8	19.6	3	-1.0	30				2	
年 極値				35.9	8/26	-3.0	2/15		117		19	1

5年 月	湿 度 %			降 水 量 (mm)			量 別 降 水 日 数					
	平均 9 h	最小	起日	総 量	最大 日量	起日	≥1 mm	≥10 mm	≥30 mm	≥50 mm	≥100 mm	≥300 mm
1	83.1	56.5	31	66.0	23.0	7	4	4				
2	78.6	44.5	23	75.5	22.5	21	4	3				
3	66.3	36.5	12	46.5	24.5	15	3	2				
4	62.2	36.5	18	112.0	71.0	28	4	2		1		
5	62.6	36.5	28	101.0	40.0	2	5	2	1			
6	71.6	56.0	11	337.0	81.5	30	7	3		4		
7	77.2	57.0	29	287.5	85.5	5	11	3	2	2		
8	69.9	56.4	12	377.0	97.0	3	5	4	1	3		
9	83.5	57.8	5	200.5	64.0	30	5	3	2	1		
10	69.4	52.5	11	104.5	48.0	30	3		2			
11	74.7	37.0	25	103.5	42.0	13	4	3	1			
12	82.5	58.5	28	60.0	16.5	10	6	3				
年 極値		37.0	11/25	1,871.0	97.0	8/3	61	32	9	11		

年報編集委員会

松 浦 邦 昭

阿 部 敏 夫

金 子 真 司

浦 野 忠 久

1994 年 9 月 26 日 印刷

1994 年 9 月 30 日 発行

森林総合研究所関西支所年報

第 35 号 平成 5 年度

発 行 所 農林水産省森林総合研究所関西支所

〒 612 京都市伏見区桃山町永井久太郎有地

T E L (075) 611-1201

F A X (075) 611-1207

印 刷 所 株式会社 日 興 商 会

〒 612 京都市伏見区竹田三ッ杭町 5 - 1

T E L (075) 643-4550